

2012 日本代表チーム選手選考規定

主な変更点（赤字で明示）：

2012 年度からワールドカップがこれまでのような大陸ラウンドとしての位置づけが希薄となったため、ヨーロッパラウンドを特別扱いにする文言を削除する。

~~※ただし、2011 年度の日本代表チーム選手選考は 2010 年度ルールに準ず~~

1. 国際大会への日本代表チーム選手選考は日本代表選抜ランキングと主催者の選考基準に合わせて行われる。選考基準が主催者により設定されない場合は、日本代表チーム選手選考は原則として当該国際大会の開催される前年度の日本代表選抜ランキングのポイント 100%と前々年度の日本代表選抜ランキングのポイント 50%の合計により、その上位から順に選考する。ただし、当該国際大会の開催される前年度 PJJ ランキング ~~(オープンクラス)~~ 1 位の者は当該国際大会のチームサイズが 2 + 1 以下であった場合は、補欠ランキングの第 1 位とし、チームサイズが 3 + 1 以上であった場合は優先的に選考される。(PJJ ランキング ~~(オープンクラス)~~ 1 位の者が、日本代表選抜ランキングにより選考されている者と重複した場合においても、PJJ ランキング ~~(オープンクラス)~~ 2 位以下を繰り上げて選考することはしない。)
2. 日本代表選抜ランキングは、PJJ 大会で成立したタスクのどれか 1 本のデイクオリティが 0.6 以上となった大会の総合順位および、次項に定める国際大会の総合順位に対して与えられる点数のうち高いほうから 3 大会（ただし、少なくとも 1 大会は PJJ 大会とする）の点数を合計してつけるランキング（同点が出た場合は、参加した全ての大会の平均点の高いほうを高順位とする）である。
3. 日本代表選抜ランキングに計上できる国際大会は FAI 公認世界選手権、FAI 公認大陸選手権、PWCA 公認ワールドカップ（本大会のみとし、プレあるいはセレクションツアーなどは含まない）および FAI カテゴリー 2 以上の国際大会とする。また、海外での大会をポイントに計上したい選手は原則として大会終了後 1 ヶ月以内に JHF パラグライダー競技委員会までポイント計算に必要な書類（選手全員フルネームと各タスクの成績の記載されたオフィシャルファイナルリザルト）を提出する。

4. 日本代表選抜ランキングの各大会におけるポイントは次の通りとする。

ポイント = $N \times (1 + S/100) \times (1 + R \times 5/100)$ （小数点以下第 2 位を四捨五入し、第 1 位まで算出する）

ここで $N = -\alpha \sqrt{\text{（本人順位} - 1\text{）} + (50 - P)}$

ここで $\alpha = (49 - P) / \sqrt{\{(\text{成立したタスクにおける参加者数累計}) / (\text{成立した本数})\} \times 0.6 - 1}$

$P = 30 - (\text{成立したタスクにおける参加人数累計}) / (\text{成立したタスク本数})$ とし、この値が負になった場合は 0 とする

$R = (\text{大会における各タスクのデイクオリティの合計値} - 1)$ で最大値は 3 とする

$S = \text{成立した各タスクに参加したシード選手のシード係数値の合計を、その大会期間中で合算したものを、その大会で成立したタスク本数で割った数値}$

同順位が複数出た場合は同順位者を繰り下げた順位までの平均点とする。

5. 国際大会のポイント計算に当たって：

- a) 世界選手権、ヨーロッパ選手権、ワールドカップスーパーファイナルの場合は

$$N = 60 - (\text{本人の大会順位})$$

ただし、1位の場合は $N = 60$ とする。また、 $S = 100$ とする。

従ってポイント $= 2 \times \{60 - (\text{本人の大会順位})\} \times (1 + R \times 5/100)$ となる。

ここで $R = (\text{成立したタスク本数} - 1)$ とし、最大値は3とする。

- ~~b) ワールドカップ(ヨーロッパラウンド)の場合は~~

~~$$N = 60 - (\text{本人の大会順位})$$~~

~~ただし、1位の場合は $N = 60$ とする。また、 S はジャパンリーグ規定1.7により求める(上限を100とする)。~~

~~従ってポイント $= \{60 - (\text{本人の順位})\} \times (1 + S/100) \times (1 + R \times 5/100)$ となる。~~~~ここで $R = (\text{成立したタスク本数} - 1)$ とし、最大値は3とする~~

- b) その他の国際大会は4項の計算式に準ずる。

その他の要件：

(ア) JHF フライヤー登録が有効であること。

(イ) 理事会の承認を受けること。